

アンケート調査報告書

～小平3・4・10号線の道路整備について～

平成26年6月

小平市 都市開発部

1 実施目的

小平3・4・10号線の検討対象区間について、道路整備に関する意見や要望等を把握することを目的としてアンケート調査を行った。

2 実施概要

アンケートの配布・回収方法等は次のとおりである。

①実施期間

平成26年2月3日（月）から2月14日（金）まで

②配布範囲

小平3・4・10号線の検討対象区間のうち、都市計画道路計画地内を含む地権者や周辺地域の方々（計画線から、概ね50mの範囲：小川西町5丁目、小川東町1丁目）

*配布範囲については、以下の図のとおり

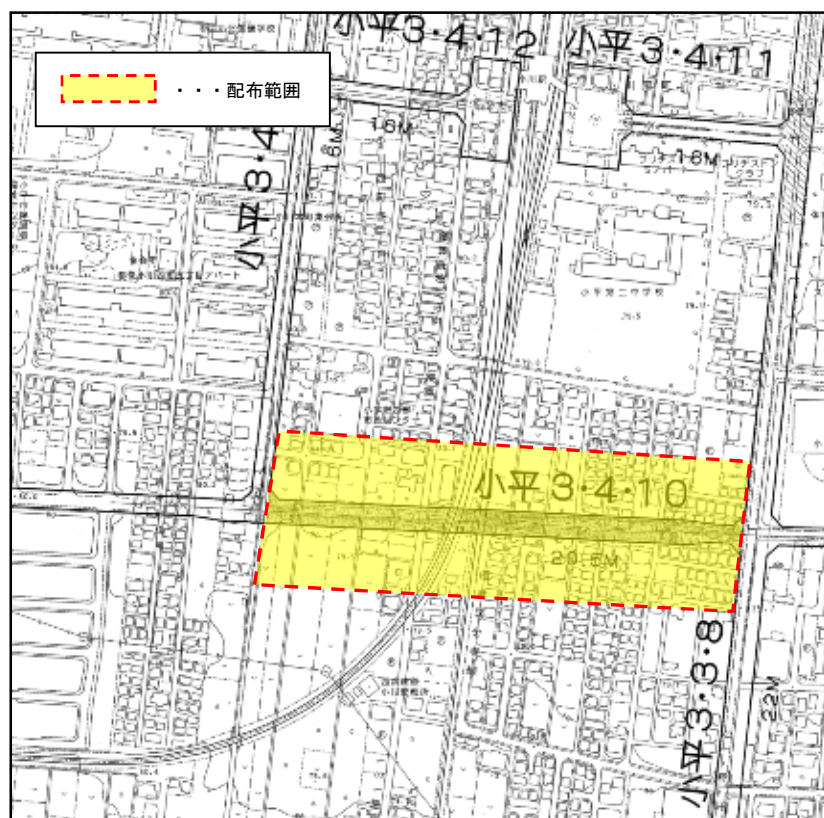
③配布方法

居住者：ポスティング 地権者：郵送配布

④回収方法

居住者：郵送回収 地権者：郵送回収

◎小平3・4・10号線の配布範囲（小川西町5丁目、小川東町1丁目）



<アンケート票の配布範囲図>

3 設問内容の検討

周辺の自治体において実施された道路の整備に関するアンケート事例を収集し、収集したアンケート事例を参考に、小平3・4・10号線のアンケートの設問項目・内容を検討した。

小平3・4・10号線のアンケートの設問項目・内容を以下に示す。また、配布したアンケート調査票を次頁以降に示す。

＜小平3・4・10号線に関するアンケート設問項目・内容＞

設問項目	設問内容
1. 個人属性	性別、居住地、年齢、世帯構成、土地・建物の所有状況、土地・建物の利用状況、職業、運転の有無と頻度
2. 計画道路の認知	計画道路の認知度
3. 計画道路の整備イメージ	計画道路の望まれる整備イメージについて
4. 計画道路の交差形式	計画道路の望ましい立体交差方式について
5. 自由回答	計画道路の整備に関する意見の記述

4 アンケート調査票

小平3・4・10号線のアンケート調査票（A3両面）および回収用封筒（角3）を以下に示す。なお、アンケート票配布の際は、透明の角3封筒にアンケート票と回収用封筒を綴じ込んだ。

問2 小平3・4・10号線についてお聞かせください。該当する番号に「○」をつけてください。

- ① 以前から知っている
- ② 小田原駅前地区の「まちづくりワークショップ」で知った
- ③ 12月に市より配布された「小平3から5の知らせ」の欄から知った
- ④ 聞いたことがない
- ⑤ その他

問3 小平3・4・10号線のうち、西沢井橋及び富分号線との軌道立休交差部を整備する際に、優先されるイメージをお聞かせください。それぞれの内容で、あなたのお考えに当てはまる番号に「○」をつけてください。（前ページのイメージ写真を見て、ご回答ください。）

	1票のうち	2票のうち	3票のうち
① 歩行者や自転車等の歩道が拡充し、広く安全な空間を確保する	1	2	3
② 歩行者や自転車等の歩道及び幅員がバランスよく確保する	1	2	3
③ 鉄道は拡充が、歩行者や自転車等の歩道や歩道確保	1	2	3
④ 歩行者の歩道拡充が優先され、西沢井橋等の歩道は非歩道部分とする（歩道に歩道敷は、歩行者専用歩道の歩道敷（道）と異なります。）	1	2	3
⑤ その他	1	2	3

問4 小平3・4・10号線のうち、西沢井橋及び富分号線との軌道立休交差部の整備手段についてお聞かせください。それぞれの内容で、あなたのお考えに当てはまる番号に「○」をつけてください。

	1票のうち	2票のうち	3票のうち
① 設置手段は、アンダーパスが望ましい	1	2	3
② 設置手段は、オーバースタックが望ましい	1	2	3

問5 アンケート調査及び小平3・4・10号線の整備についてのご意見を下記にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

小平3・4・10号線に関するアンケート調査

～みなさまの声を聞かせたい～

日頃より、小平市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。
現在、市では計画的に都市計画道路の整備を進めており、平成24年4月には、小田原向4丁目及び5丁目地区の小平3・4・10号線（仮称）及び小平3・4・21号線（富士見通り）の交差部の利用が開始されたところでございます。

さて、昨年実施された、地域の皆様を主体とする小田原西沢井地区の「まちづくり懇話会」や「まちづくりワークショップ」での声を踏まえ、また、新たな都市計画道路及び道路ネットワークの形成に向け、以下の検討対象区間について、都市計画道路計画告知区域内の権利者や関係団体の皆様に対し、今後の整備に向けたご意見を伺うアンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ恐縮ではございますが、アンケート調査の趣意を御理解いただき、ご協力くださいましたことお礼申し上げます。

【検討対象区間】

小平3・4・10号線のうち約380m
（府中街道から富士見通りの交差部まで）
※詳細は裏面を参照してください。

～アンケート調査にお答えいただく前にご確認ください～

【ご記入にあたって】

- ・ 記入した本調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、ご返送ください。（返封不要）
- ・ 平成25年2月14日（金）までにお近くの郵便ポストに投入してください。（住所、氏名の記入は必要ありません。）

【アンケート調査について】

- ・ ご回答いただいた内容は、個人が特定できない形で統計的に整理した上で、集計・分析を行い、今後の事業の参考とさせていただきます。本調査の目的外で使用することはありません。
- ・ アンケート調査に関する不都合や疑問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 小平市 都市開発部 まちづくり課 都市整備係 担当 西本 加寿
TEL 042-346-9828（直通）FAX 042-346-9513
E-mail sh00100@city.kodaira.jp

小平3・4・10号線対象区間位置図（概略図）



都市計画道路とは
都市計画道路とは、都市計画に基づいて、位置・経路・幅員などが決定された都市の骨格となる道路です。人や車を円滑に流れるようにし、都市機能を形成します。
また、交差点における道路幅や歩道幅を確保するなど、都市基盤として市民生活の重要な役割を担っています。

小平3・4・10号線とは
当該路線につきましては、市庁及び小田原西沢井地区まちづくり推進委員会により、東大和町線（仮称）から府中街に向けて、順次整備を進めてまいりました。
なお、平成24年4月には、地域の皆様のご理解とご協力により、小平3・4・21号線（富士見通り）との交差部分が供用開始となっております。
また、昨年実施された、地域の皆様を主体とする小田原西沢井地区の「まちづくり懇話会」や「まちづくりワークショップ」では、当該路線を更に南に延ばして、府中街（小平3・2・10号線）まで延伸することについて、多くの声をお伺いしております。
現在、市では、延伸の具体化に向けて、様々な研究・検討を進めております。

以下の問1から問5までの設問について、実際の質問紙にてご回答をお願いいたします。

問1 あなた様ご自身のことについてお聞かせください。（該当する番号に「○」をつけてください。）

性別	①男性 ②女性	お住まいについて	①01地区から7丁目 ②04地区1丁目 ③その他
年齢	①20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳以上		
世帯構成	①単身世帯 ②2人家族 ③3人家族世帯（夫婦と子供） ④2人家族世帯（夫婦とその他） ⑤その他		
お住まいの形態	①工場と住宅兼用 ②工場と住宅兼用 ③建売住宅兼用 ④敷地・借地		
所有している土地・建物の利用状況	①土地又は建物等を所有している（自己所有） ②自己所有して居る（建物所有） ③借地・借家として利用（建物所有） ④賃貸住宅・借家として利用（建物所有） ⑤借地として利用 ⑥賃貸住宅、借家等として利用 ⑦土地所有にしている ⑧その他		
職業	①会社員・公務員・団体職員 ②自営業 ③専業主婦 ④学生 ⑤その他		
車の運転の有無	①運転する ②運転しない（運転免許、運転経験、その他） ③ 空欄しなさい		

小平3・4・10号線のうち、検討対象区間は、府中街道（小平3・2・10号線）から西沢井橋及び富分号線と交差し、富士見通りとつながる都市計画道路です。
下の図は、仮設交差部の概略図の一部となります。

道路のような歩道の機能が期待されることイメージして、以下の図にお答えください。

＜軌道立休交差部（アンダーパス方式）＞

＜軌道立休交差部（オーバースタック方式）＞

● 道路への影響への影響が大きい。歩道幅員が狭くなるため、歩行者の歩道確保が困難になる。

● 一般に、オーバースタック方式は、歩道幅員が狭くなるため、歩行者の歩道確保が困難になる。

● 道路への影響への影響が大きい。歩道幅員が狭くなるため、歩行者の歩道確保が困難になる。

● 一般に、アンダーパス方式は、歩道幅員が狭くなるため、歩行者の歩道確保が困難になる。

西沢井橋及び富分号線との軌道立休交差部について
検討対象区間は、道路幅員2.0、5mで都市計画道路が確保されています。
今後の整備に向けては、道路幅員の変更（拡幅等）に努めます。西沢井橋の側溝改修（仮称）及び富分号線の側溝改修（仮称）も進められています。

図 小平3・4・10号線のアンケート調査票

料金受取人払

小平郵便局
承認
236

187 8790

差出有効期間
平成26年2月
28日まで
(切手不要)

小平市小川町二丁目一三三三番地

小平市都市開発部まちづくり課都市整備係
行

【アンケート調査票在中】

*ご協力いただき、ありがとうございます



図 回収用封筒（角3封筒）

5 調査結果

アンケート調査票の配布・回収の状況は、以下のとおりであった。

＜アンケートの配布・回収状況 単位：件＞

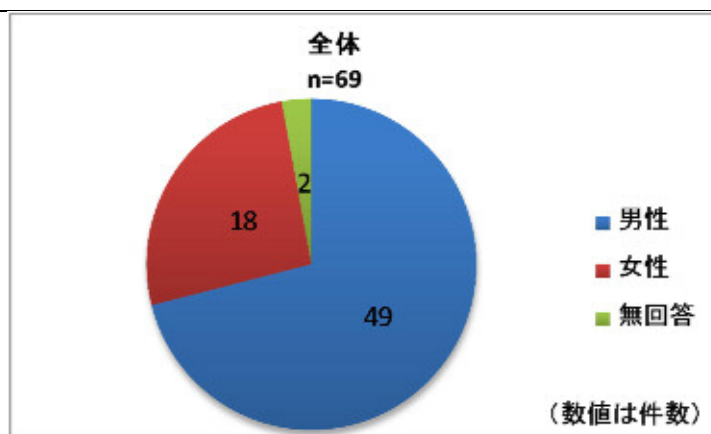
	配布数			回収数	回収率
	居住者	地権者	計		
小平3・4・10号線	255	31	286	69	24.13%

小平3・4・10号線のアンケート調査の集計結果（単純集計結果・クロス集計集計結果）を以下に示す。

問1：個人属性

① 性別

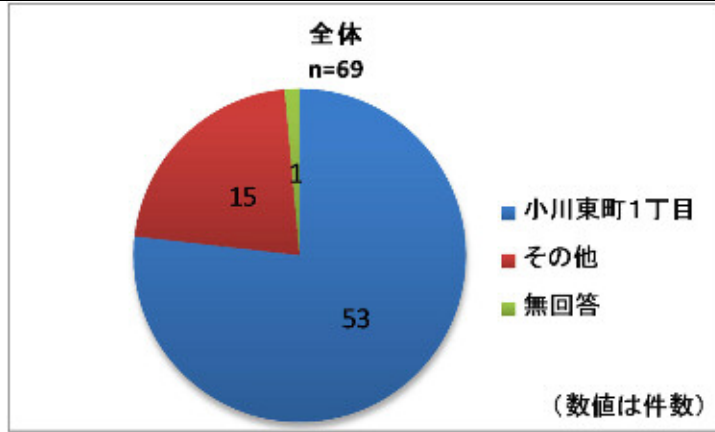
・「男性」の回答者が多く71%（49件）を占めている。



回答	件数	割合
男性	49	71%
女性	18	26%
無回答	2	3%
合計	69	100%

② お住まい

- ・「小川東町1丁目」の回答者が多く、全体の77%（53件）占めており、「小川西町5丁目」の回答者はいない。
- ・その他では、「小川西町4丁目」の回答者が8件と最も多い。



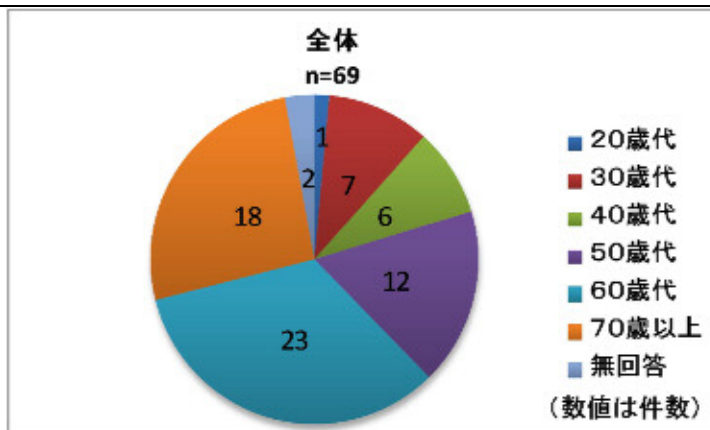
回答	件数	割合
小川東町1丁目	53	77%
その他	15	22%
無回答	1	1%
合計	69	100%

■ その他の内訳

小川西町4丁目	8件
小川町1丁目	3件
東京都内	1件
小金井市内	1件
無回答	2件

③ 年齢

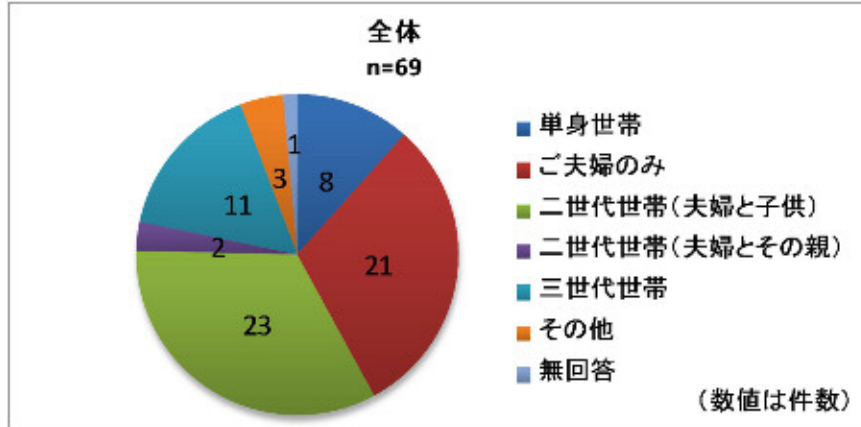
・「60歳代」の回答者が最も多く、全体の33%（23件）占めており、次いで「70歳代」の26%（18件）、「50歳代」の17%（12件）が続き、中高齢の回答者が多い。



回答	件数	割合
20歳代	1	1%
30歳代	7	10%
40歳代	6	9%
50歳代	12	17%
60歳代	23	33%
70歳以上	18	26%
無回答	2	3%
合計	69	100%

④ 世帯構成

・「夫婦と子供の二世帯世帯」の回答者が最も多く、全体の33%（23件）を占めており、次いで、「ご夫婦のみ」の30%（21件）が続いている。



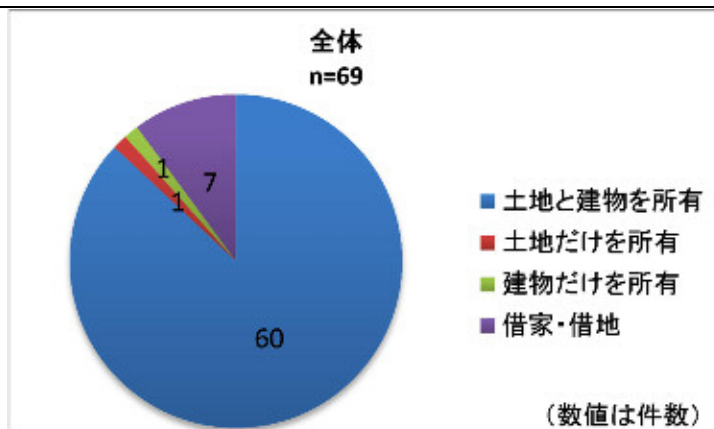
回答	件数	割合
単身世帯	8	12%
ご夫婦のみ	21	30%
二世帯世帯(夫婦と子供)	23	33%
二世帯世帯(夫婦とその親)	2	3%
三世帯世帯	11	16%
その他	3	4%
無回答	1	1%
合計	69	100%

■その他の内訳

子供	1件
孫	1件
無回答	1件

⑤ お住まいの形態

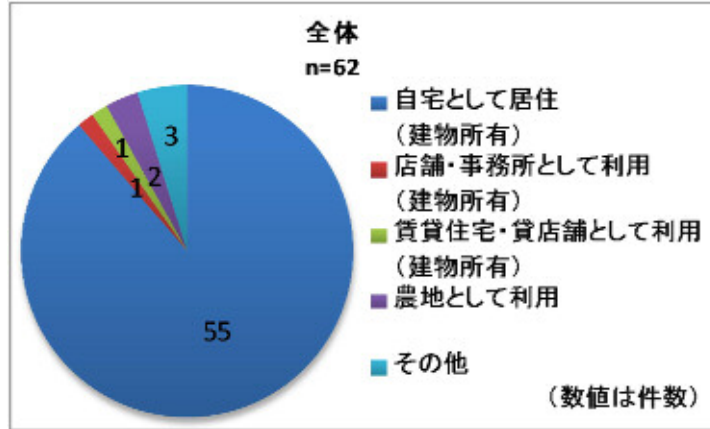
・「土地と建物を所有」の回答者が最も多く、全体の87%（60件）を占めている。



回答	件数	割合
土地と建物を所有	60	87%
土地だけを所有	1	1%
建物だけを所有	1	1%
借家・借地	7	10%
合計	69	100%

⑥ 所有している土地・建物の利用状況

・所有している土地・建物の利用状況は、「自宅として居住」の回答者が最も多く、全体の89%（55件）を占めている。



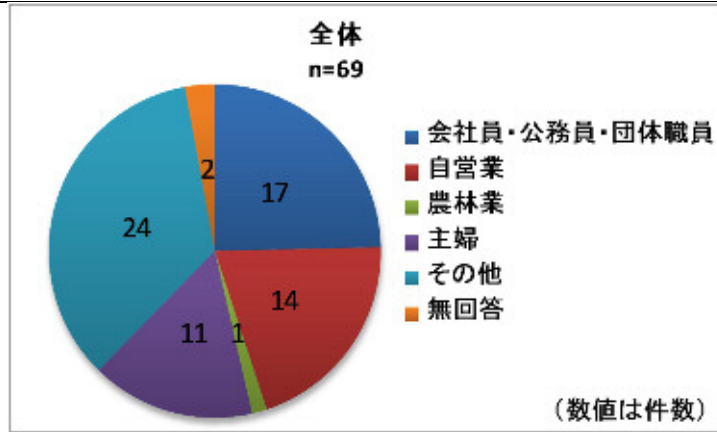
回答	件数	割合
自宅として居住(建物所有)	55	89%
店舗・事務所として利用(建物所有)	1	2%
賃貸住宅・貸店舗として利用(建物所有)	1	2%
農地として利用	2	3%
その他	3	5%
合計	62	100%

■ その他の内訳

空家	1件
自宅と賃貸	1件
店舗&自宅	1件

⑦ 職業

- ・「その他」の回答者が最も多く全体の35%（24件）を占めており、次いで「会社員・公務員・団体職員」の25%（17件）、「自営業」の20%（14件）が続いている。
- ・その他の内訳としては、「無職」の回答者が最も多い。



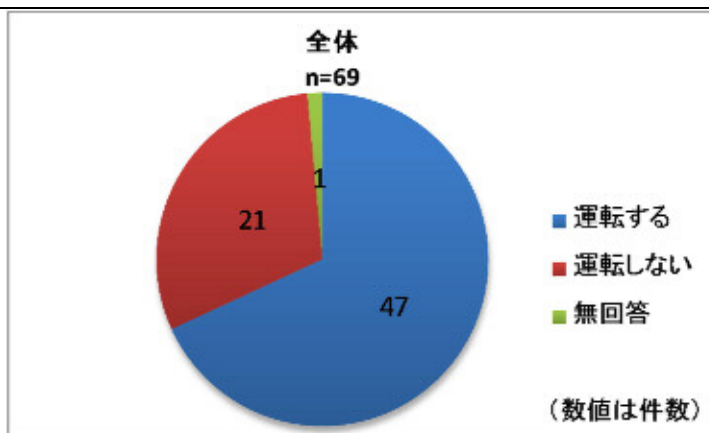
回答	件数	割合
会社員・公務員・団体職員	17	25%
自営業	14	20%
農林業	1	1%
主婦	11	16%
その他	24	35%
無回答	2	3%
合計	69	100%

■その他の内訳

アルバイト	1件
専従者(事務所)	1件
年金受給者	3件
無職	9件
役員	1件
無回答	9件

⑧ 車の運転の有無

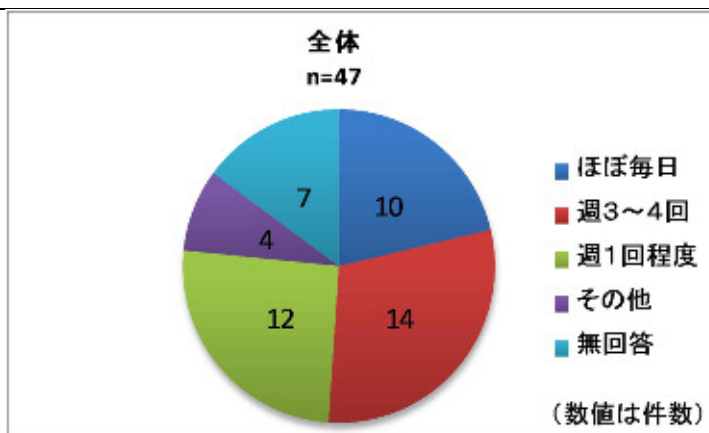
・車を「運転する」の回答者が多く、全体の68%（47件）を占めており、「運転しない」は30%（21件）となっている。



回答	件数	割合
運転する	47	68%
運転しない	21	30%
無回答	1	1%
合計	69	100%

【運転頻度】

・運転頻度は、「週3～4回」の回答者が最も多く全体の30%（14件）を占めており、次いで「週1回程度」の26%（12件）、「ほぼ毎日」の21%（10件）が続いている。



回答	件数	割合
ほぼ毎日	10	21%
週3～4回	14	30%
週1回程度	12	26%
その他	4	9%
無回答	7	15%
合計	47	100%

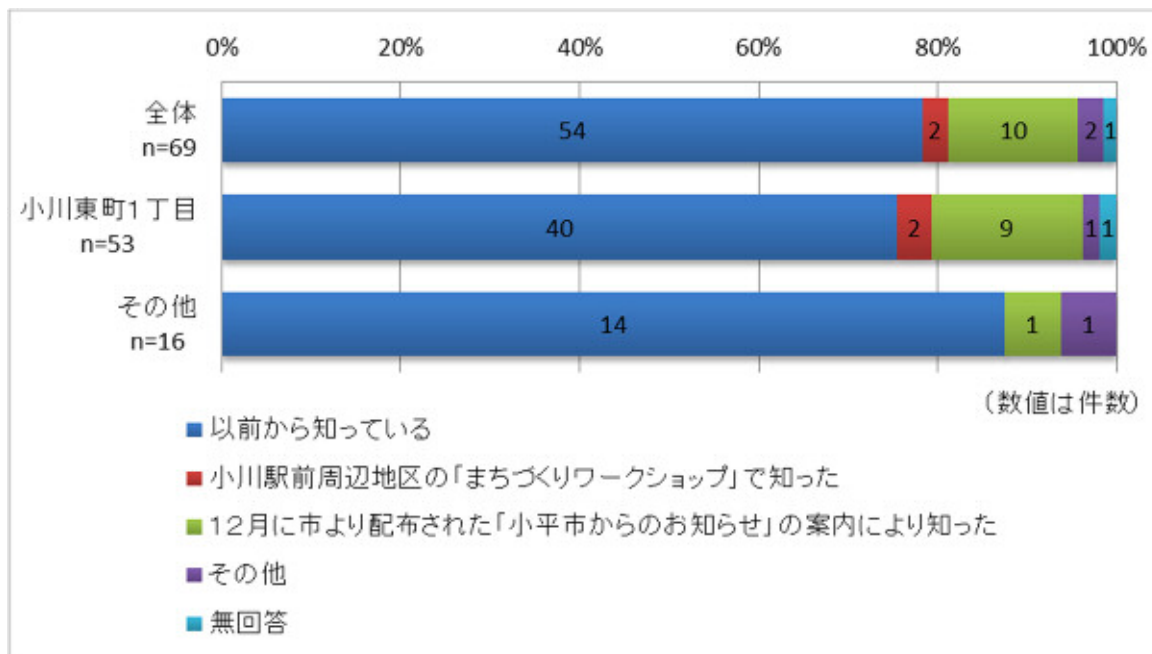
■その他の内訳

2回	1件
月1回程度	1件
年2、3回	1件
必要な時のみ	1件

問2 小平3・4・10号線の認知度

⑨ 全体の傾向

・無回答を除けば、ほぼ全ての回答者（95%）が小平3・4・10号線の計画を認知している。認知状況は、「以前から知っている」の回答者が最も多く78%を占めており、次いで「小平市からののお知らせ」が14%となっている。



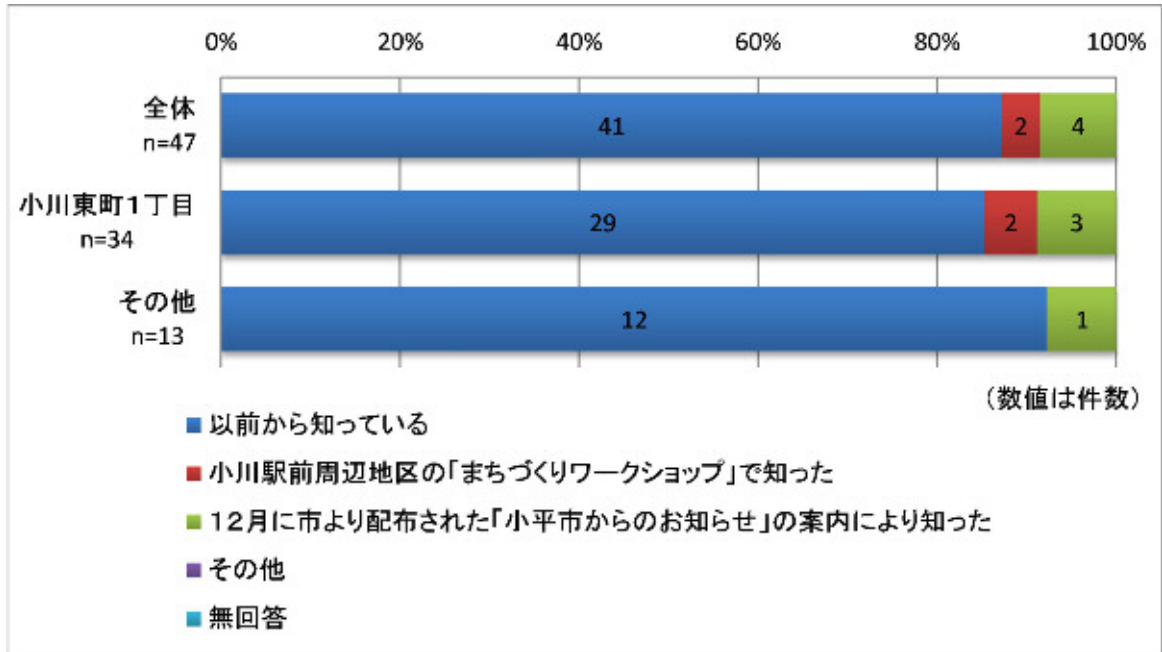
	以前から知っている	小川駅前周辺地区の「まちづくりワークショップ」で知った	12月に市より配布された「小平市からののお知らせ」の案内により知った	その他	無回答	合計
全体	54件	2件	10件	2件	1件	69件
	78%	3%	14%	3%	1%	100%
小川東町1丁目	40件	2件	9件	1件	1件	53件
	75%	4%	17%	2%	2%	100%
その他	14件	0件	1件	1件	0件	16件
	88%	0%	6%	6%	0%	100%

■その他の内訳

場所をはっきりとしていなかったが、道路計画があることは聞いていた 1件
 親族から聞いた 1件

⑩車を運転する回答者

・全体の傾向と同様、「以前から知っている」の回答者が最も多く 87%を占めており、次いで「小平市からのお知らせ」が9%となっている。

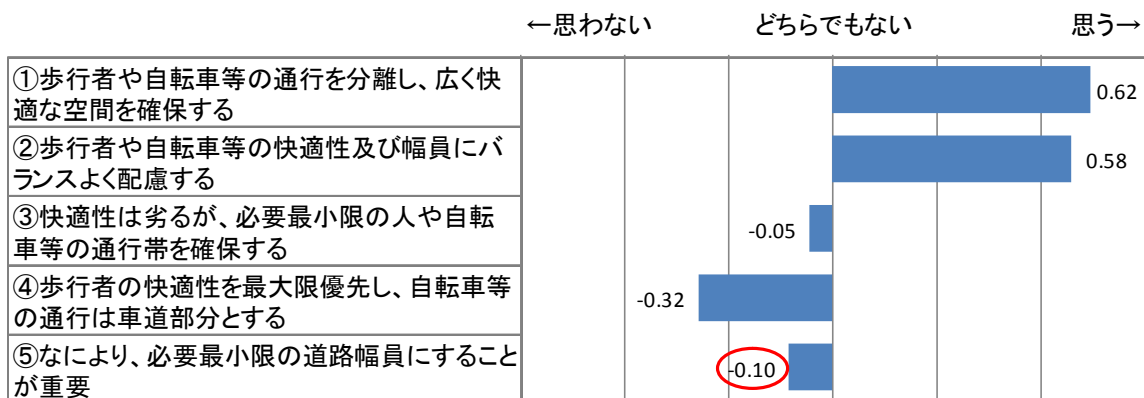


	以前から知っている	小川駅前周辺地区の「まちづくりワークショップ」で知った	12月に市より配布された「小平市からのお知らせ」の案内により知った	その他	無回答	合計
全体	41件 87%	2件 4%	4件 9%			47件 100%
小川東町1丁目	29件 85%	2件 6%	3件 9%			34件 100%
その他	12件 92%		1件 8%			13件 100%

問3 小平3・4・10号線の望まれる整備イメージ

○全体の傾向

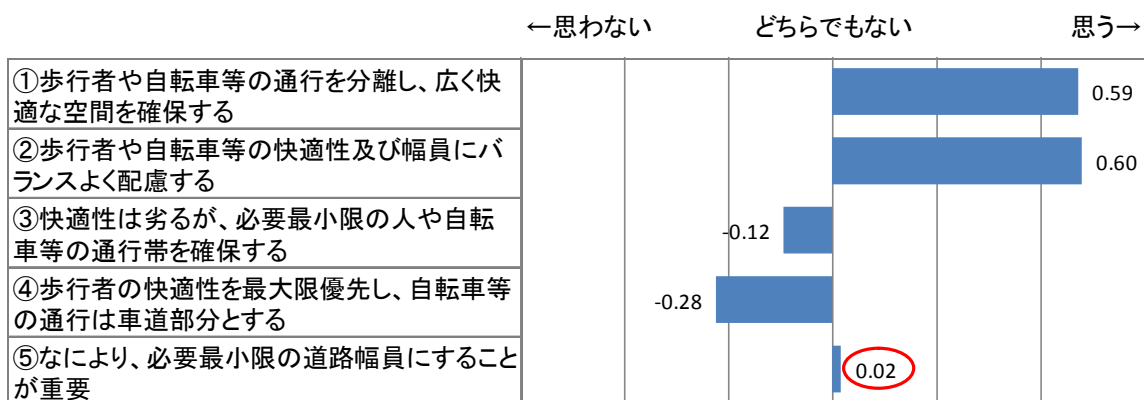
・「歩行者や自転車等の通行を分離した快適な空間の確保」、「快適性や幅員のバランスのとれた配慮」を望む項目の点数が高く、「必要最小限の人や自転車の通行帯の確保」、「歩行者を優先し、自転車の通行を車道部分」、「必要最小限の道路幅員」を望む項目の点数が低くなっている。



※無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

○小川東町1丁目在住回答者

・全体の傾向と概ね同様であるが、「必要最小限の道路幅員にすることが重要」との考えについて相違がみられる。

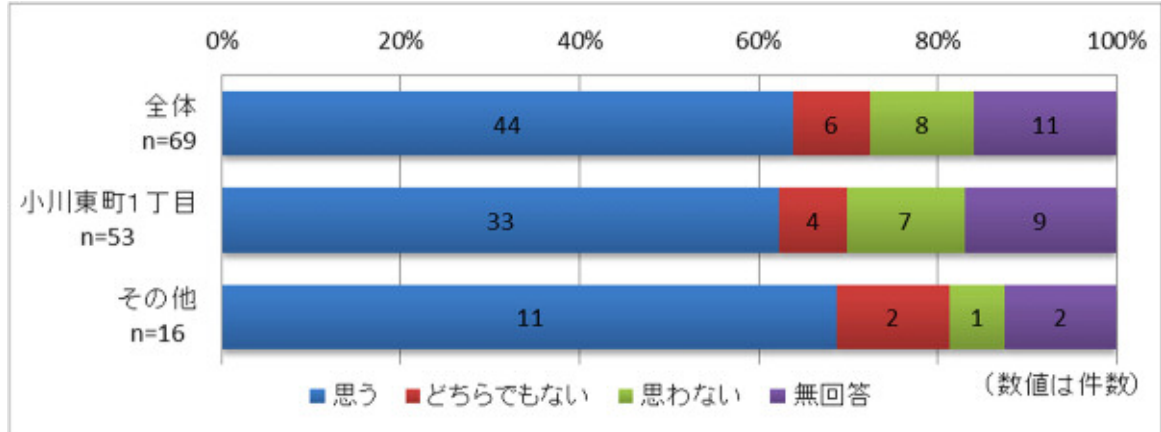


※無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑩歩行者や自転車等の通行を分離し、広く快適な空間を確保する

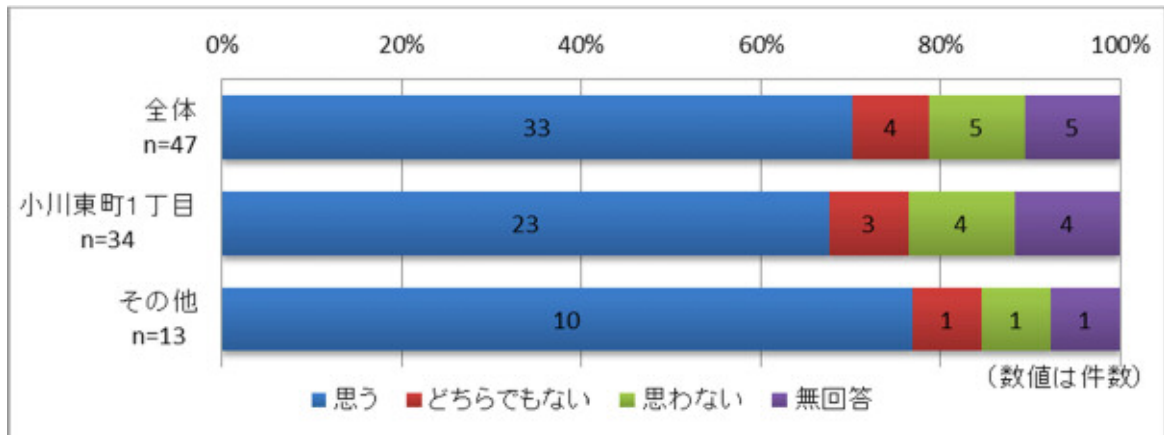
・「思う」の回答者が最も多く64%を占めており、「思わない」の回答者が12%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思う」の回答者が最も多く70%を占めており、「思わない」の回答者が11%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	44件	6件	8件	11件	69件	0.62
	64%	9%	12%	16%	100%	
小川東町1丁目	33件	4件	7件	9件	53件	0.59
	62%	8%	13%	17%	100%	
その他	11件	2件	1件	2件	16件	0.71
	69%	13%	6%	13%	100%	

○車を運転する回答者



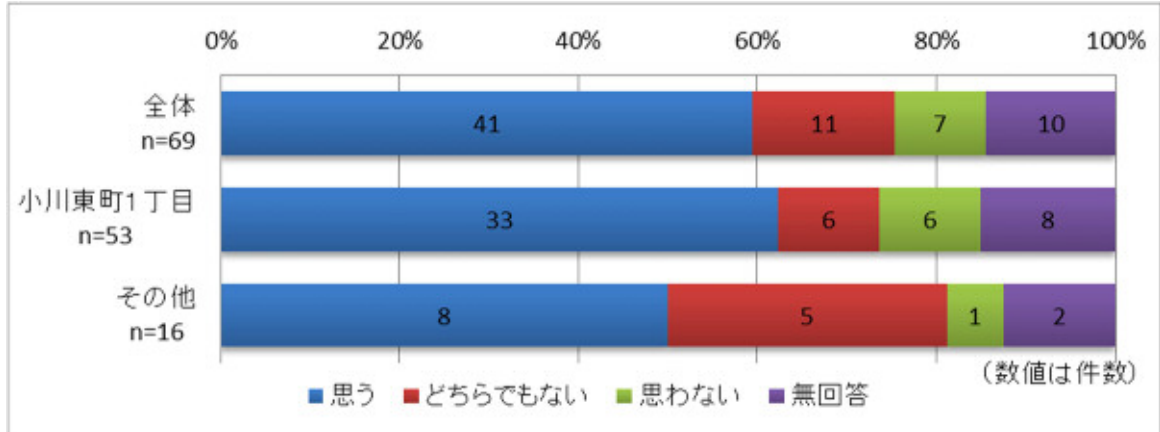
	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	33件	4件	5件	5件	47件	0.67
	70%	9%	11%	11%	100%	
小川東町1丁目	23件	3件	4件	4件	34件	0.63
	68%	9%	12%	12%	100%	
その他	10件	1件	1件	1件	13件	0.75
	77%	8%	8%	8%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑫歩行者や自転車等の快適性及び幅員にバランスよく配慮する

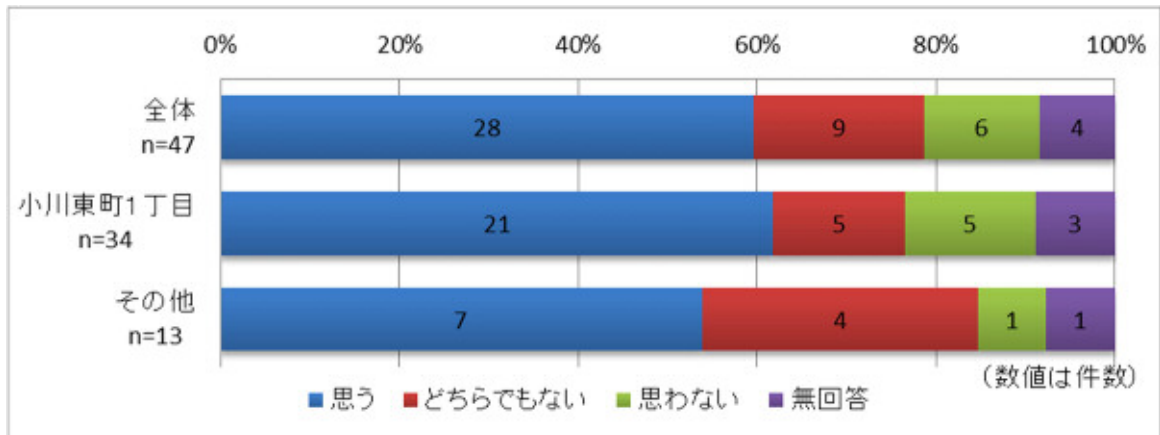
・「思う」の回答者が最も多く 59%を占めており、「どちらでもない」の回答者が 16%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思う」の回答が最も多く 60%を占めており、「どちらでもない」の回答者が 19%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	41件	11件	7件	10件	69件	0.58
	59%	16%	10%	14%	100%	
小川東町1丁目	33件	6件	6件	8件	53件	0.60
	62%	11%	11%	15%	100%	
その他	8件	5件	1件	2件	16件	0.50
	50%	31%	6%	13%	100%	

○車を運転する回答者



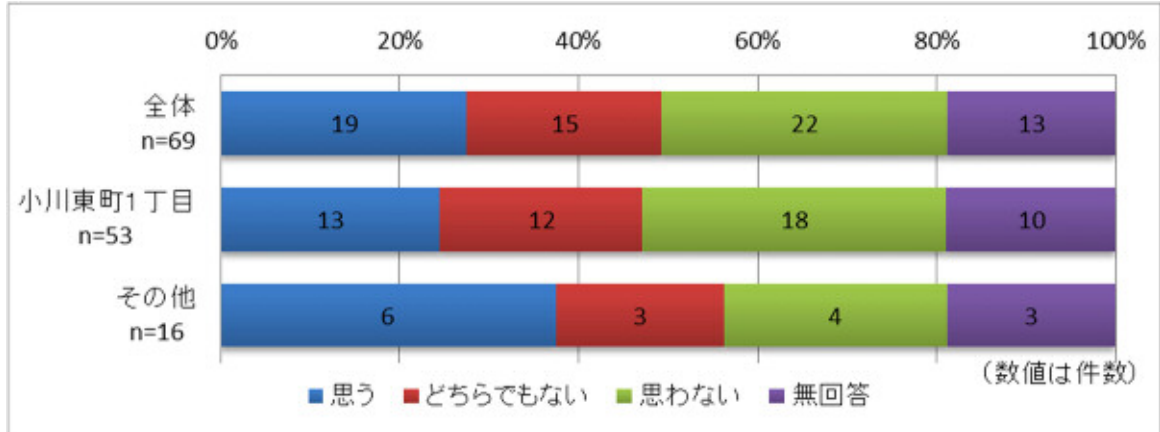
	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	28件	9件	6件	4件	47件	0.51
	60%	19%	13%	9%	100%	
小川東町1丁目	21件	5件	5件	3件	34件	0.52
	62%	15%	15%	9%	100%	
その他	7件	4件	1件	1件	13件	0.50
	54%	31%	8%	8%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑬快適性は劣るが、必要最小限の人や自転車等の通行帯を確保する

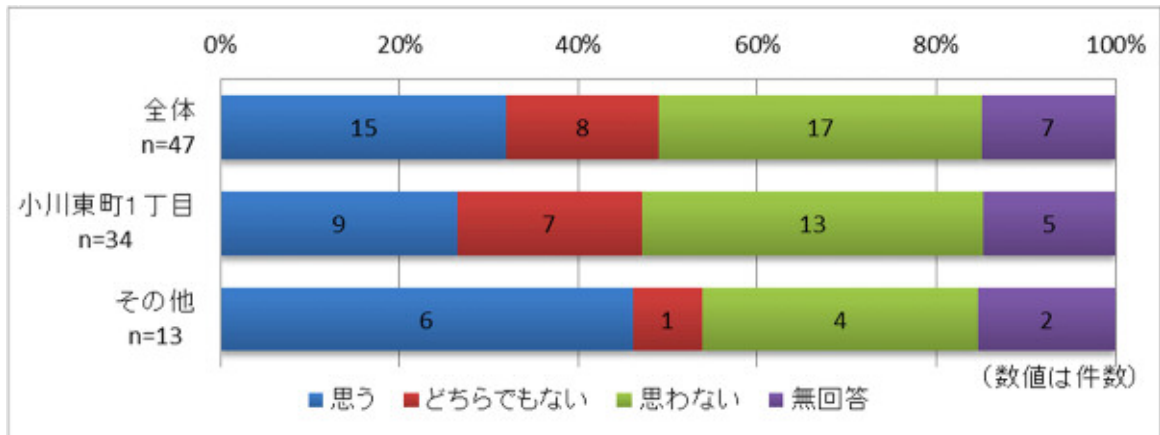
・「思わない」の回答者が最も多く 32%を占めており、「思う」の回答者が 28%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思わない」の回答が最も多く 36%を占めており、「思う」の回答者が 32%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	19件	15件	22件	13件	69件	-0.05
	28%	22%	32%	19%	100%	
小川東町1丁目	13件	12件	18件	10件	53件	-0.12
	25%	23%	34%	19%	100%	
その他	6件	3件	4件	3件	16件	0.15
	38%	19%	25%	19%	100%	

○車を運転する回答者



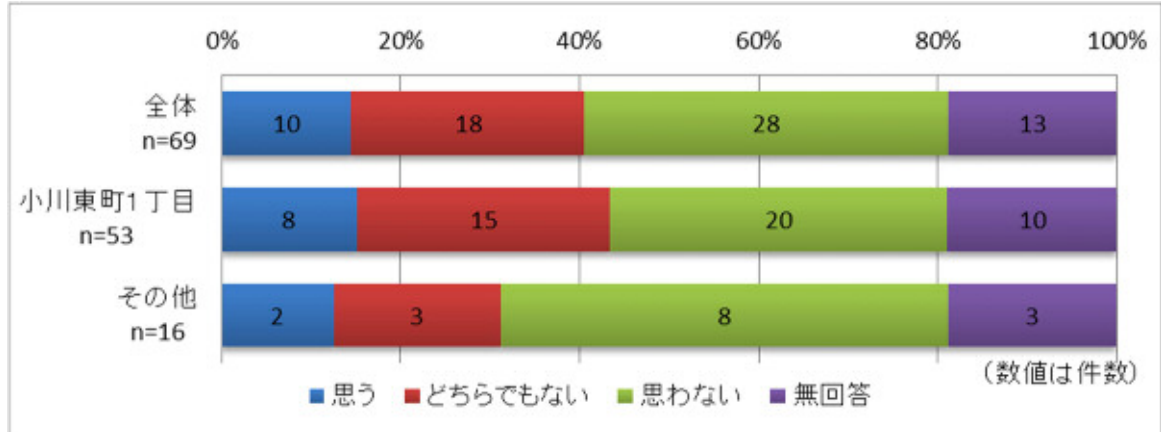
	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	15件	8件	17件	7件	47件	-0.05
	32%	17%	36%	15%	100%	
小川東町1丁目	9件	7件	13件	5件	34件	-0.14
	26%	21%	38%	15%	100%	
その他	6件	1件	4件	2件	13件	0.18
	46%	8%	31%	15%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑭歩行者の快適性を最大限優先し、自転車等の通行は車道部分とする

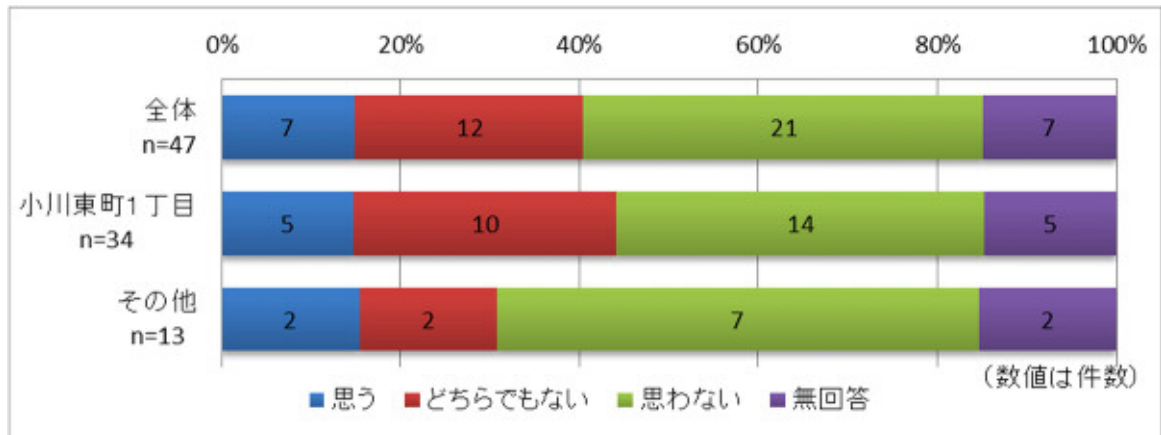
・「思わない」の回答者が最も多く 41%を占めており、「どちらでもない」の回答者が 26%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思わない」の回答が最も多く 45%を占めており、「どちらでもない」の回答者が 26%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	10件	18件	28件	13件	69件	-0.32
	14%	26%	41%	19%	100%	
小川東町1丁目	8件	15件	20件	10件	53件	-0.28
	15%	28%	38%	19%	100%	
その他	2件	3件	8件	3件	16件	-0.46
	13%	19%	50%	19%	100%	

○車を運転する回答者



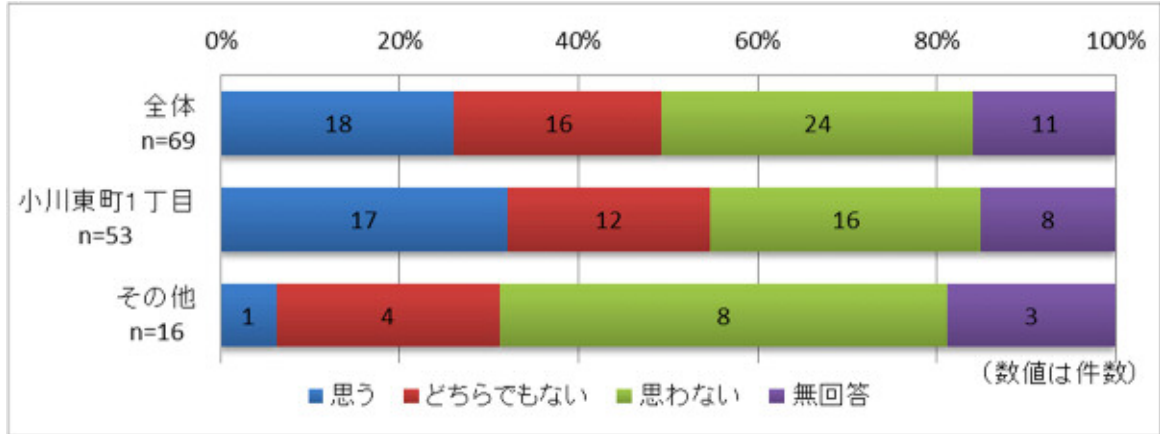
	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	7件	12件	21件	7件	47件	-0.35
	15%	26%	45%	15%	100%	
小川東町1丁目	5件	10件	14件	5件	34件	-0.31
	15%	29%	41%	15%	100%	
その他	2件	2件	7件	2件	13件	-0.45
	15%	15%	54%	15%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑮により、必要最小限の道路幅員にすることが重要

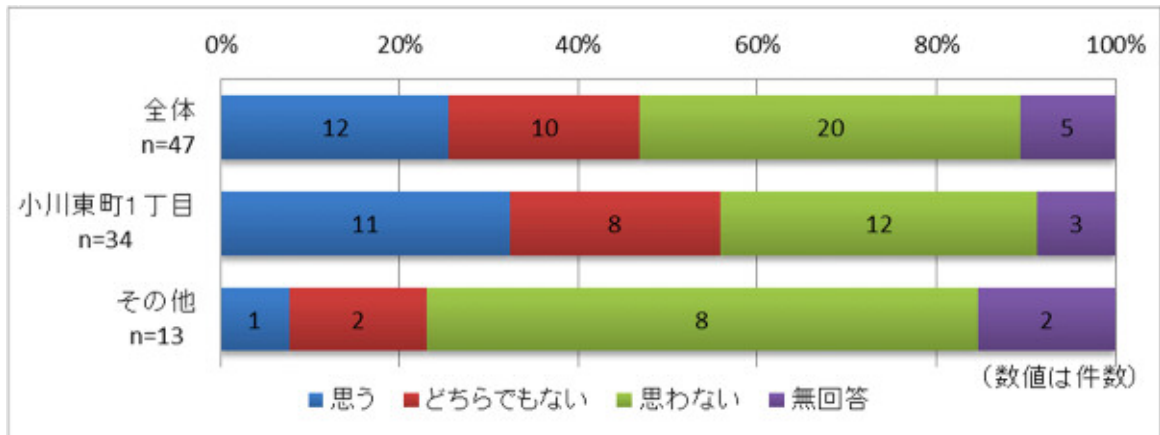
・「思わない」の回答者が最も多く 35%を占めており、「思う」の回答者が 26%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思わない」の回答者が最も多く 43%を占めており、「思う」の回答者が 26%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	18件	16件	24件	11件	69件	-0.10
	26%	23%	35%	16%	100%	
小川東町1丁目	17件	12件	16件	8件	53件	0.02
	32%	23%	30%	15%	100%	
その他	1件	4件	8件	3件	16件	-0.54
	6%	25%	50%	19%	100%	

○車を運転する回答者



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	12件	10件	20件	5件	47件	-0.19
	26%	21%	43%	11%	100%	
小川東町1丁目	11件	8件	12件	3件	34件	-0.03
	32%	24%	35%	9%	100%	
その他	1件	2件	8件	2件	13件	-0.64
	8%	15%	62%	15%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

問4 小平3・4・10号線の望ましい整備手法

○全体の傾向

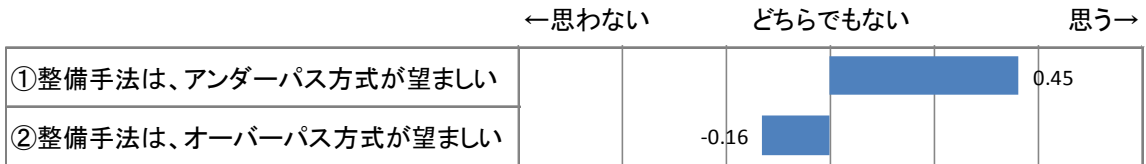
・アンダーパス方式が望ましいと「思う」傾向に点数が高く、オーバーパス方式が望ましいと「思わない」傾向に点数が高くなっている。



※無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

○小川東町1丁目在住回答者

・小川東町1丁目在住の回答は全体の傾向と同様であるが、オーバーパス方式が望ましいと「思わない」傾向が減少している。

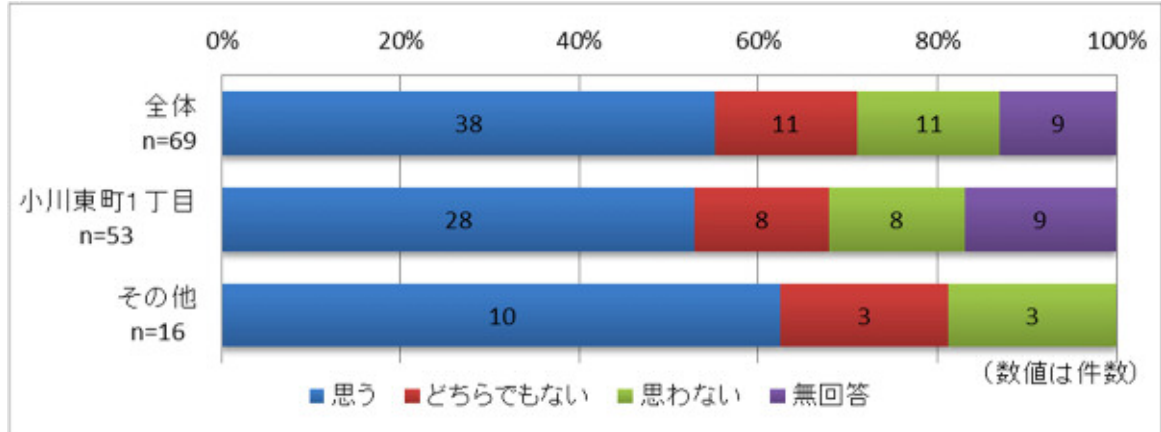


※無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑩整備手法は、アンダーパス方式が望ましい

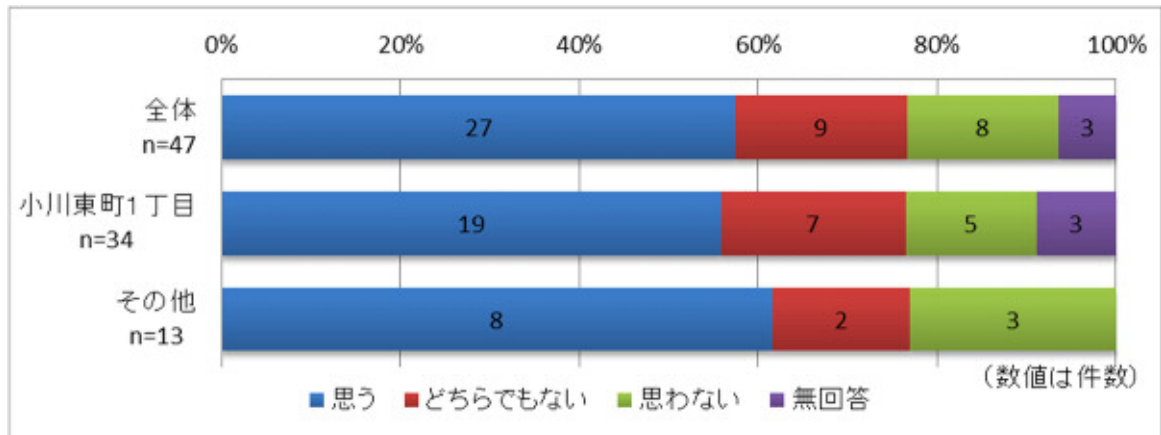
・「思う」の回答者が最も多く 55%を占めており、「思わない」と「どちらでもない」の回答者が 16%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思う」の回答は最も多く 57%を占めており、「どちらでもない」の回答者が 19%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	38件	11件	11件	9件	69件	0.45
	55%	16%	16%	13%	100%	
小川東町1丁目	28件	8件	8件	9件	53件	0.45
	53%	15%	15%	17%	100%	
その他	10件	3件	3件	0件	16件	0.44
	63%	19%	19%	0%	100%	

○車を運転する回答者



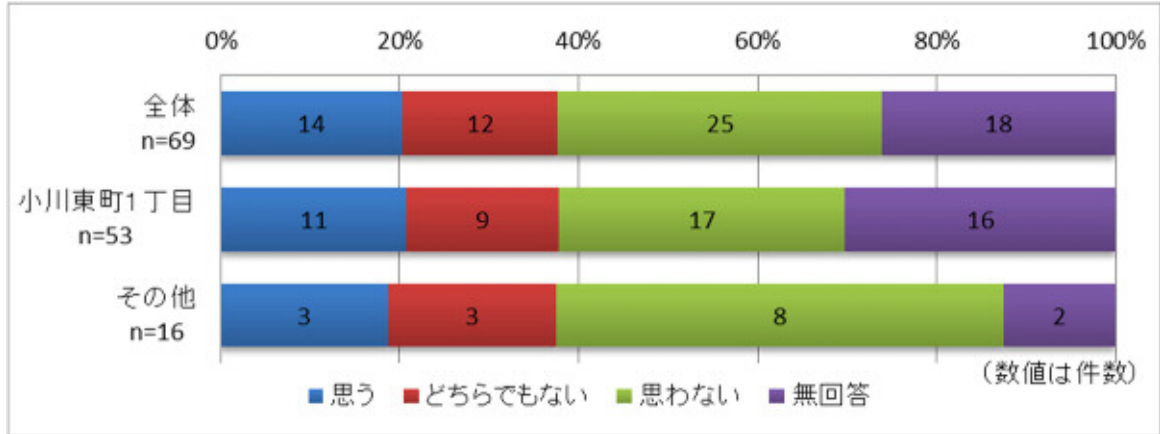
	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	27件	9件	8件	3件	47件	0.43
	57%	19%	17%	6%	100%	
小川東町1丁目	19件	7件	5件	3件	34件	0.45
	56%	21%	15%	9%	100%	
その他	8件	2件	3件	0件	13件	0.38
	62%	15%	23%	0%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑩整備手法は、オーバースペース方式が望ましい

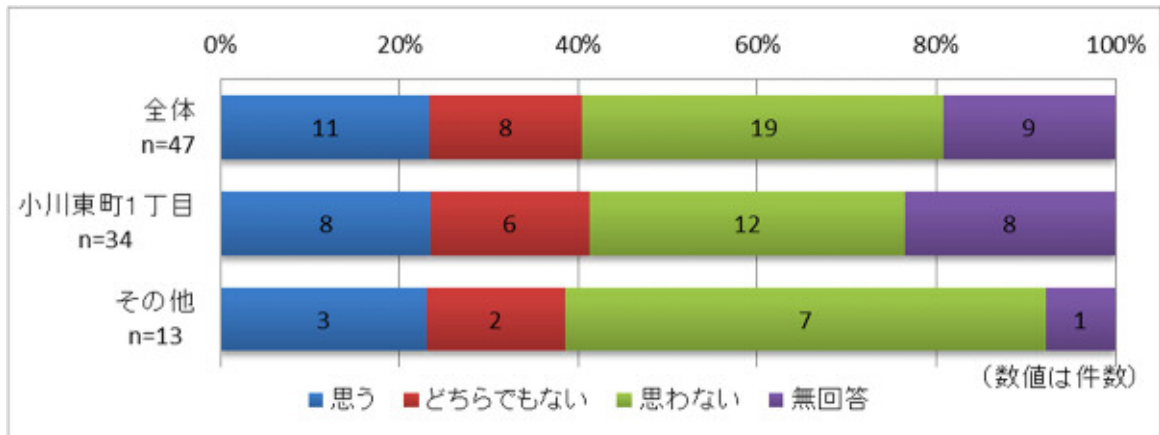
・「思わない」の回答者が最も多く 36%を占めており、「思う」の回答者が 20%となっている。また、全体の傾向と比較して、車を運転する回答者は、「思わない」の回答者が最も多く 40%を占めており、「思う」の回答者が 23%となっている。

○全体の傾向



	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	14件	12件	25件	18件	69件	-0.22
	20%	17%	36%	26%	100%	
小川東町1丁目	11件	9件	17件	16件	53件	-0.16
	21%	17%	32%	30%	100%	
その他	3件	3件	8件	2件	16件	-0.36
	19%	19%	50%	13%	100%	

○車を運転する回答者

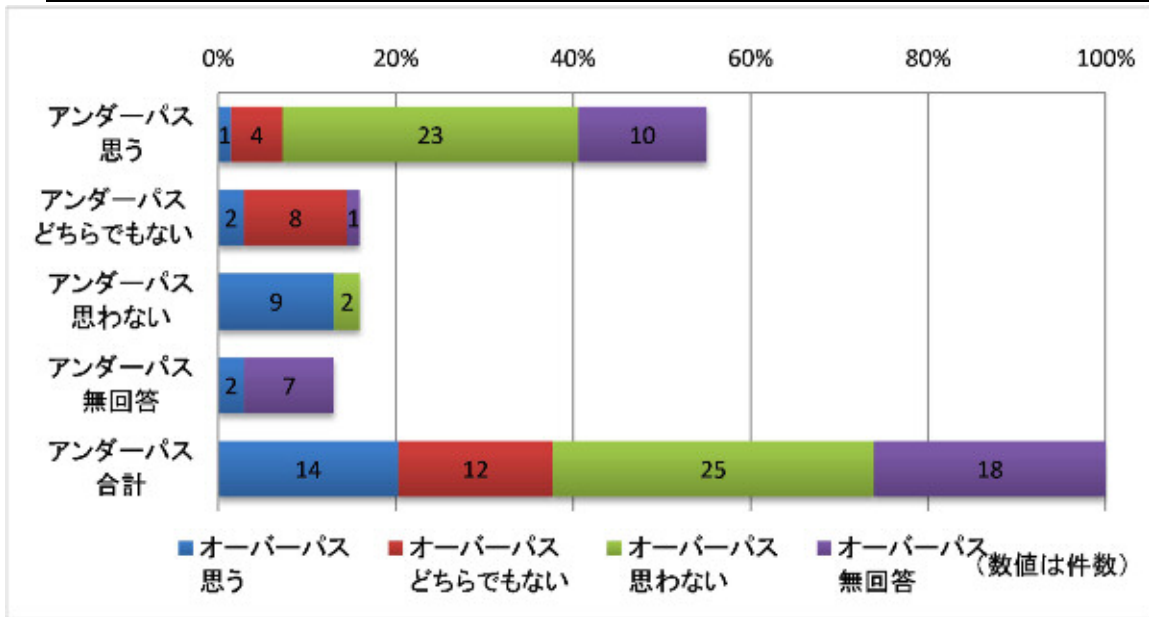


	思う	どちらでもない	思わない	無回答	合計	スコア
全体	11件	8件	19件	9件	47件	-0.21
	23%	17%	40%	19%	100%	
小川東町1丁目	8件	6件	12件	8件	34件	-0.15
	24%	18%	35%	24%	100%	
その他	3件	2件	7件	1件	13件	-0.33
	23%	15%	54%	8%	100%	

※スコア：無回答を除き、「思う」を+1点、「思わない」を-1点、「どちらでもない」を0点として平均点を算出

⑩アンダーパス方式とオーバーパス方式との関係

- ・アンダーパス方式が望ましいと「思う」とオーバーパス方式が望ましいと「思わない」の組合せが最も多く 33%を占めている。次いでアンダーパス方式が望ましいと「思う」とオーバーパス方式が望ましいと「無回答」の組合せが 14%、アンダーパス方式が望ましいと「思わない」とオーバーパス方式が望ましいと「思う」の組合せが 13%を占めている。
- ・また、両設問とも「どちらでもない」の回答は 12%、両設問とも「無回答」の回答は 10%となっている。



		オーバーパス方式				合計
		思う	どちらでもない	思わない	無回答	
アンダーパス方式	思う	1件	4件	23件	10件	38件
		1%	6%	33%	14%	55%
	どちらでもない	2件	8件		1件	11件
		3%	12%		1%	16%
	思わない	9件		2件		11件
		13%		3%		16%
無回答	2件			7件	9件	
	3%			10%	13%	
合計	14件	12件	25件	18件	69件	
	20%	17%	36%	26%	100%	

問5 自由回答

自由回答は69件のうち46件の記述があった。記述内容は以下のとおりである。

*記述された内容を忠実に再現するため、誤字・脱字についてもそのまま掲載しています。

No.	問5 (自由回答)
1	道路開通時に高層の建物ができるかどうかはと思います。
2	整備そのものの計画に疑問です。災害時の避難路等の立前はさておき、何故この整備が必要なのか明確に根拠をもって説明してほしい。整備区域は、現在私が住んでいる家の近く、騒音（工事中～交通量の増加にともなう）が心配だという個人的な理由もありますが、先日の府中街道の問題（無効になった住民投票）しかり、あのような小平市の権力的なふるまいを見ていると、結局このようなアンケートも「近隣住民の意見を聞いた」アリバイ作りのように思えてならない。整備をする前提の質問内容にも疑問です。ただ道路が不必要と言いたいわけではなく、既にある土地、家などを押しよけ、作るのであれば、相応の緊張感をもって説明していただき、納得させていただければと思います。
3	二中通りは道路幅員が狭く、歩行者や自転車の通行が危ないので、一日でも早く新道路を作っていただきたい。そのため、工期が短いオーバーパス方式も利点があるが、歩行者や自転車の通行の負担が少ないアンダーパス方式も捨てがたく思う。具体的な工期や工事費を概算で示して改めて賛否を諮らたらどうか。
4	既存道路との接続がどうなるか示してほしい
5	とにかく早く整備してほしい。アンダーパスで。
6	本件地区は平地が続くので、降雨（多雨）時等に避難場所、浸水の危害等に逢わないようにと思います。問4の関連。
7	「二中通り」と「青梅街道」の現状からみると、早期の完成が望まれる。
8	市が責任を持って同等の代替用地を用意すること。小川駅、新小平駅、府中街道、青梅街道へのアクセス利便性が高いことも評価の対象とすること。単純に土地の大きさだけで代替物件を考えるのは断固反対！今の家は非常に利便性が高い。また建物および敷地内に有する植物の1本たりとも保証すること！これらの条件を満たさなければ立ち退きはしない！西武線を高架とするか地下とするかは騒音振動による住民への影響が少ない方が良い。我々、立ち退きを迫られる住民への質問としては如何なものか！配慮が足りないのでは無いか！予算はあるんですか？
9	交通渋滞を緩和する為、早急な整備を希望する。
10	歩道の植栽は良いものだが、雑草の管理も合わせて、しっかりやるべき。
11	早く工事をしてほしい。
12	家を購入した時に、ここに道路ができる事は覚悟していましたが。線路があるので実現しないのではないかと心配していましたが…、住み慣れた家を出て歳を取ってから引っ越すのは大変な事です。でも、新しい道路が出来、住み良い街になってくれるなら……。素敵な街並みができる事を期待しています。立ち退く住民の今後のサポート宜しくお願いします。
13	道路整備の為踏切事故等の心配も減少することでしょう。早く実行してください。その為の協力も市民として必要な事と思いますが！？

No.	問5 (自由回答)
14	自宅にどの程度の影響があるのか、時期がいつになるのか全く知らないので不安を感じている 自治会等の小さく区切った単位で事前のきめ細かい説明会を希望します。
15	早くしてほしい
16	52年前のものを今さらにして作ろうとする事は税金のムダです。高齢化によりだんだん自動車を運転する人が減少していくのにこのプロジェクトをすすめようとする事はおかしいです。見直しをはかるべきです。問3&問4の質問はバカげている。
17	この通りはほぼ毎日通りますが、本当に狭く、とても通行しにくいです。早く対策を取ってほしいです。
18	早期に実現することを望む。
19	数十年前から計画があり、ぜんぜん進んでいない。やるのであれば、スムーズに早くやってほしい。今の住居の計画がたたない。
20	小川駅西側の「たましん」から南に延び「青梅街道」につながる道路があります。この道路は当然「小平3、4、10号線」に交差しますが、その場合、「アンダーパス方式」の方が良いと思います。また、富士見通りを青梅街道まで広げることも考えてほしい。
21	都市計画決定と具体化との期間があまりにも長すぎる。(一般に)
22	予定道路には、生活道路が交差していますが駅に行くにも遠まわりになる様なことには断じてならない様に考えて下さい。その様なことになる様ですと反対し協力いたしかねます。
23	青梅街道は数十年前から渋滞がひどく、全く改善されてない。国分寺線を踏み切り部分だけ高架にするとか、対策が必要だ。青梅街道に接道する交差点も事故が多く危険も多い。その為にも3、4、10号線の早期開通は必要である。ただオーバーパス方式にすると、畑が日影になってしまうので、アンダーパスが望ましい。
24	小平3、4、10号線が整備される時には二中通りの交通量が減ること(一方通行にするとか)と、とショートカットをする車が住宅街のせまい道に入って来ないように工夫して欲しい。
25	二中通りが混むと言うのは一時的で、新道路を整備する必要性は全く感じない。該当地の現住民のことは、どう考えているのか置き去りにされている。現況の道路の電柱を地中にとかするだけでいい分違うと思う。子供の頃からマナーを身に付けさせて(家、家族)いかに狭い道でも安全に通行出来ることかを学ばせる方が得策と考える。
26	道路計画があるにもかかわらず、最近道路のかかる場所に新築を許可するのはいかにも無計画ではないかと思う。計画に対して、近隣の人たちの意見を聞きながらやってほしい。ある程度計画が決まっている事に関して、このようなアンケートを出すこと自体税金の無駄だと思う。

No.	問5 (自由回答)
27	現在の道路には、危険性と不便さを感じます。都市計画道路には賛成ではあるが、計画道路予定地上に、居住する者にとっては将来の生活に不安を感じる。昭和38年に計画決定以降 建築の規制制約等不利益を被り続けている。30数年前に建築した家も経年劣化し、多くの家が建て替え又はリホームの時期に来ているが、どの様にしたら自分たちの将来によいか判断出来ず悩んでいるのが現状である。60代で多額の住宅ローンが組めない年齢での、住居の引っ越し及び建て替え等は重労働であり、金銭的、肉体的、精神的にも負担になる。環境の変化も出来るだけ早いうちに、出来るのであれば行いたいと願っている。70代以降になるのならば、今現在のままで良いと自己中心的な考えである。出来事ならば、用地買収交渉に即入ってもらいたいと思っている。時間がかかればかかるほど用地買収が困難になる所であると思う。30・40代であれば、金銭面、体力面でも順応性もあり定年後世代よりは、はるかに容易と思うが、時間は後戻りできないのです。早い決定を希望します。
28	早くつくってほしいです。
29	小平3、4、10号線と府中街道との接合部がボトルネックの様に細くなっている(図面によると)のは何か理由があるのだろうか?府中街道に流入する車が左右に流れることを考えると、通常なら車線数を増やさなければスムーズにいかないのではないのでしょうか?
30	必要ナシ。周辺住民にとって交通量が増加するのは大変迷惑だ!!この道路を作ることが、小平市民にとって何の意味も持たないと思う。青梅街道の道幅を広くする方が意味を持つ!!
31	計画道路を進める事には意義無いが、道路巾拡巾には大反対。こぶし道り以上の広くする意味が分かりません、費用も大きくなると考えられ小平3、4、21交差点以西は従来(20、5m)道巾となり中途半端です。よって、都市計画通りの道巾20、5mとし、費用抑制及び工期短縮を希望する。
32	いつから工事をする予定なのかはっきりしてほしい(近隣には新築、建てなおしの家も多く道路予定地に入っているこの計画が数年内なのであれば建築申請時に話があって当然だと思います)・こぶし通り、六小通りの道路幅員と同じ位とし、必要以上に道路を太くする必要はない。・この道路計画よりも早急に二中通りの事故対策は必要では?たびたび交通事故もあつたはずなので、子供の通学時間帯は一方通行にするなど考える必要があると思う。
33	早く着工、完了を望む。
34	早く開通で有ればどちらの手法でも良いと思います
35	このアンケートを提出すると裏面の資料の控えがなくなりその後の参考にできなくなる。今後アンケートと資料は別紙にして欲しい
36	府中街道まで早期に接道してほしい
37	具体的な工事日程をもう少し示して下さい。買収等、想定しにくい部分があると思うが、どこかに完成予定年度は示されているのかな。
38	今回案内して頂いている計画道路の全体像が見えてこないのが現実としての実感が湧いてこない。今後も通学路となることが予想されるので、一日も早くこの事業とは関係なく通行者の安全性を確保した歩道を整備してほしい。また、建設が予定されている道路上に新たに建てられている家屋も見られ、現実的に計画を進められるのか疑問を感じる。
39	二中通りを広くして、小平3、4、10号線は廃止すると、費用も少なくて良いのではないかと。或いは、小平3、4、10号線道路の幅員をもう少し縮小できないか、そうすると、私の家にかからなくなります。

No.	問5 (自由回答)
40	この道路はもう何十年も前から計画され、我が家はたちのきの対象です。いつから始まるのか、もしくは、いつ決定されるのかははっきりしていただかないと、家も古くなり、手を入れることもできません。立ち退き費用も道路にかかった分だけと聞きましたが、わずかばかり残されてもこまります。道路にかかったら、残りに住むこともできず、また年金生活者にとって、家や土地を買う余裕はありません。しっかりと補障してほしいと思います。
41	アンダーパス方式は費用や維持にお金がかかるとの事、市に負担がかかるのでは心配です。2中通りと西側に続く道はとても危険です。子供たちの通学路としては不向きです。又西側に続く道は緑成会病院や中宿へ行くのに便利なのですが、車と自転車がすれちがう時は狭くて危いのでほとんど使わず遠まわりしています。ご近所の方にも同じだとの事です。
42	小平3、4、10号線の整備が必要かもしれないがそこに永年住んでいる人の身になってほしい。代替地や住居の保障を確実にしてくれるのか、又年老いた物の住居など・・・。一番に住んでいる物の事を考えてほしい。私の生まれ育った家がなくなってしまうのは本当にさみしい。時々帰れる所をなくさないでほしい。
43	現在二中通りが混みあっているので、50mも離れていない所にそんな大きな道路は必要ない。幅の狭い道路で十分。自治会など分かれてしまい、小川駅までの道のりが遠くなるのは大いに困る。
44	整備の反対はしないが、その前にやれることを考えて欲しい。整備の際には住民に納得いくまでちゃんとした説明を求めます。
45	アンダーパス方式は南北に町内を2分させてしまう率が高いが、長期的に考えると騒音や日照の関係からアンダーパスを選んだ。小平は近隣に比べ道路行政が遅れているように思える。当道路計画に小宅が含まれているが、出来るだけ計画の進行状況については、正確な情報を小まめに伝えて欲しい。46年も住んでいる地が道路計画に含まれているのは残念であるが、市の発展の為と思って仕方がないと考えている。出来るだけ丁寧なフォローをして欲しい。説明会等適宜行って欲しい。今後、通知漏れのない様、くれぐれもお願いします。
46	住宅地の中をつっきるということをよく考慮して、工事の方法や整備手法を考えて頂きたいと思います。通行する人のことより、長くその地に住み続ける人を大切にしたいです。